

皇室を彩る 美の世界

福島ゆかりの品々



皇室の名宝、来福！

2025 7/5(土)~8/31(日)

※展示替あり

前期 7/5(土)~8/3(日) 後期 8/5(火)~8/31(日)

【開館時間】9時30分~17時00分(入館は16時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(ただし7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館、翌日休館)

【入館料】一般1,200円(960円)/高大生・65歳以上900円(720円)

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

【主催】郡山市立美術館、皇居三の丸尚蔵館 【特別協力】文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社





7



8

皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室に伝来した美術工芸品のなかから、狩野永徳や俵屋宗達、尾形光琳ら近世絵画の優品をはじめ、明治初期に描かれた記録性の高い洋画の数々、近代日本画を代表する横山大観や東山魁夷、さらに郡山出身の渡邊晨敵らの秀作のほか、高村光雲や海野勝珉の至高の彫刻・工芸作品、精巧で可憐なボンボニエールなど、貴重な収蔵品をご紹介します。さらに、会津松平家から秩父宮雍仁親王に嫁ぎ、皇室と福島の人々の心の架け橋となった勢津子妃ゆかりの品々をご紹介します。皇室が守り伝え、育んできた日本美術の精華をどうぞお楽しみください。

皇室の名宝、来福！



9



10



11

皇居三の丸尚蔵館

皇居三の丸尚蔵館は、皇室に代々受け継がれた美術品を保存・調査研究・公開することを目的として、平成5年(1993)に皇居東御苑内に開館した「宮内庁三の丸尚蔵館」を前身とする施設です。現在、新施設の建設が進められており、令和8年(2026)の全館完成まで、多くの方々に優れた作品をご覧ください、皇室や日本の文化に親しんでいただけるよう、これまで全国各地で収蔵品を紹介する展覧会が開催されています。



令和8年全面開館時の外観イメージ

1 渡邊晨敵《慈愛》(部分)1936年 2《雅楽図》より「陵王」(部分)1884年 3 俵屋宗達《扇面散屏風》(左隻部分)江戸時代(17世紀) 4,7 岩佐又兵衛《をくり(小栗判官絵巻)》巻2(部分)江戸時代(17世紀) 5 幹山伝七《色絵草花図花瓶》(一対のうち)明治時代(19世紀) 6《重要文化財》海野勝珉《蘭陵王置物》1890年 8 山本芳翠《磐梯山破裂之図》1888年 9 軍衣(秩父宮妃勢津子殿下遺品) 10《雅楽図》より「胡蝶」1884年 11 高村光雲《猿置物》1923年 1~8, 10, 11 国(皇居三の丸尚蔵館収蔵) 9 若松城天守閣郷土博物館所蔵

関連イベント

◆講演会[入場無料]

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と福島」
日時:7月5日(土) 午後2時から 会場:多目的スタジオ
講師:田中純一朗氏(皇居三の丸尚蔵館研究員)

◆ギャラリートーク[要観覧券]

日時:7月13日(日)、8月3日(日) 午後2時から
会場:企画展示室

◆美術講座[入場無料]

「山本芳翠と磐梯山の噴火」
日時:7月19日(土) 午後2時から 会場:講義室
講師:佐藤公氏(磐梯山噴火記念館館長)、当館学芸員
「郡山の画家・渡邊晨敵の活動」
日時:8月10日(日) 午後2時から 会場:講義室
講師:当館学芸員

常設展のご案内 7/9(水)から

- 語る風景 ● 草土社とその周辺 ● 昭和100年一揺らぐ社会と対峙する
- 線を刻むーエンゲレーヴィングの世界 ● 食卓を彩る美の世界

ACCESS



バス/JR郡山駅5番のりば「郡山市美術館経由東部ニュータウン」行き
「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車/磐越道「郡山東IC」より20分
駐車場/130台

Information

第2回企画展 明治天皇の巡幸と安積開拓
ー新時代を拓いた郡山の歩みー
令和7年(2025)7月5日(土)~8月31日(日)
郡山市歴史情報博物館

郡山市立美術館 Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350
<https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/>



美術館WEB



instagram



facebook

